



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2026年 4月 17日

企業名 NES株式会社

代表者 代表取締役 石黒 保行

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組期間 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 2 取組の実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p><b>【目標】</b> 再生可能エネルギーによる環境保護と二酸化炭素排出量削減の両立</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当社が出資、納入した富山県朝日町の相ノ又谷水力発電所の2025年度発電量は、5,414,740kwhの前年比114.7%と過去最高を記録。続く、再生可能エネルギーの小水力発電施設として、福井県越前吉野瀬川水力発電所(2027年3月稼働予定)及び、富山県境川由谷発電所(2028年6月稼働予定)を受注。GX事業として建設に着手しました。2基合計で年間約350万kWh、CO<sub>2</sub>約1,500tの削減を目指しています。</li><li>・省エネ・創エネを図るZEBビル事業として建設した当社本社屋は、北陸電力様の再エネ電気「かがやきグリーン」を活用。相ノ又谷水力発電所の発電電力を活用するスキームで、2025年度実績で172,273kWh、CO<sub>2</sub>約74tの削減となりました。</li></ul>
2	<p><b>【目標】</b> 廃棄物のリサイクル率向上、廃棄量の削減と、電気・水資源消費量の削減</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物の廃棄量は、2025年度7.64tと55%の削減となりました。但し、前年度には本社移転時の廃棄物が含まれているため、顕著な削減には至っていません。通常営業活動における削減を一層推進する必要があります。</li><li>・2025年度の電気使用量は、172,273kwhとなり、前年比14.5%の削減となりました。省エネルギー仕様の新本社への新築移転が大きく寄与しています。CO<sub>2</sub>排出量は「かがやきグリーン」により100%削減を達成しました。水使用量は、猛暑時の緑化維持管理のため前年比35.7%増加しました。2026年度は天候や環境植物の状態を観察しつつ、適切な水量調整を行うことで削減を図ります。</li></ul>
3	<p><b>【目標】</b> 社員が働きやすい職場環境づくり</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社内DX化推進に伴い、紙帳票の回覧やハンコ押印文化からの脱却を目指し、社内精算/支払伝票の電子化を実現しました。拠点間の書類移動が不要になるだけでなく、回覧状況が見える化され、異なる部署間での情報共有、業務の効率化が図られました。併せて、クラウドシステムの導入により、紙媒体による請求書郵送から電子請求を順次進め、労務と通信費の削減と効率化が図られました。</li><li>・生成AIの活用を図るため、AI研修を試行し、全社員に有償版生成AIサービスの導入を決定。機密情報を扱う業務においても、安心して生成AIを利用できるようになりました。情報処理能力アップと様々なアイデア発掘に活用することに期待され、働きやすい環境整備を目指しています。</li></ul>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。